

ワーケーション 中小向けに拠点

リゾート地などに滞在しながら仕事をする「ワーケーション」に必要な施設などを整え、中小企業に提供する事業を、神戸のコンサルタント事業者が展開している。ワーケーションには、リフレッシュ効果に加え、生産性や創造性の向上、離職防止などが期待され、地元での中小企業の活性化につなげる狙い。利用する企業向けには、活用方法の相談などにも対応する。(石川 翠)

神戸のコンサル事業者



神戸経営研究所代表の
塔筋幸造さん。神戸市
兵庫区中道通3。

中小企業診断士の塔筋幸造さん(68)が代表を務める神戸経営研究所(神戸市兵庫区)が運営。北海道函館市と鹿児島県錦江町でそれぞれ既存の建物を改修し、ビジネス拠点を整備した。

- 北海道函館市の古民家を改修したワーケーション施設
- 鹿児島錦江町の校舎を活用した施設(いずれも塔筋幸造さん提供)



北海道と鹿児島、既存建物活用

などが期待されることから、中小企業も取り組めるようにと、整備を進めた。

最初にワーケーションの普及に力を入れる北海道で、見晴らしのいい函館市の古民家を改修。広さ22×24平方メートルのオフィスルーム3室と共有スペースやカフェコーナーを設けた。21年3月に開業。賃料は1室月7万円程度(入会費などが別途必要)で、既に1室は神戸のソフト会社と契約を結んだ。

続く鹿児島の大隅半島にある錦江町では、海沿いにある閉校した中学校の2階建て校舎を活用。1社専用で、広さ約60平方メートルの教室や芝生のグラウンドなどを使える。22年3月開業。同町の協力もあり、地域との関係づくりも支援する。利用料は月5万5千円程度(同)。

塔筋さんは1980年代からパソコン販売やソフト開発などを手がけ、91年に業務用パソコンソフトの開発会社を設立。中小企業診断士としてコンサルタント事業も展開し、現在、兵庫県中小企業診断士協会の副会長を務める。

ワーケーションの事業を始めたのは2020年から。生産性や創造性の向上

創造性向上など効果アピール

・86666

営研究所 ☎078・521